

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月19日更新

事務事業名		公共建築物総合管理支援員配置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	坂本 浩一郎
	施策	2	行政改革の推進			所属課	管財課	担当者名	平田 政臣
	施策の柱	12	公有財産の管理運営			所属班	施設整備支援班	(内線)	1272
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 7	事業連番 11726	根拠法令	建築基準法等		成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 ~ 30 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	有資格者(一級建築士・一級建築施工管理技師)による専門的な指導助言を受けることで、現存する公共建築物の更新、統廃合、長寿命化などの検討を行い、適切な時期での改修・更新を実施していくための公共施設等個別計画の策定を行う。また、翌年度以降に計画されている大規模建築事業の設計・施工に係る適切な監理監督を行う。
【業務の流れ】	・公共建築物の実態調査 ⇒ 更新時期や改修方法の指導助言 ・事業実施に係る設計書、現場等の確認 ⇒ 指導助言
【主な予算費目】	【報酬】 非常勤職員報酬 : 140,000円/月×12ヵ月=1,680,000円 通勤加算報酬 : 2,000円/月×12ヵ月=24,000円 【需用費】 支援員作業服 : 7,800円×2着=15,600円
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	公共施設の大型建築工事の設計・施工に係る監理を実施	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		公共建築物の実態調査(現地調査) 大規模建築事業の設計・施工に係る監理監督
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 棟	予算の主な増減の理由
→ ア: 公共建築物の調査棟数	棟	需用費の減
→ イ: 大規模建築事業の件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	公共建築物	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 棟
		→ ア: 公共建築物の棟数
		→ イ: 建築物の監理棟数
		棟
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	計画的な改修や更新を行う	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 個別計画の策定率
		→ イ: 建築物の監理完了率
		%
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		個別計画に基づき計画的な改修・更新を行うこととなるため。
		総トータルコスト 全体計画 ~30年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	棟	0	0	0	0				
	イ	件	0	6	6	1				
② 対象指標	ア	棟	0	0	0	0				
	イ	棟	0	5	5	1				
③ 成果指標	ア	%	0	0	0	0				
	イ	%	0	100	100	1				
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		1,720	1,690	1,704			
		(A) 事業費計	千円	0	1,720	1,690	1,704			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	1	5	2	0			
	延べ業務時間	時間	10	0	55	0				
	(B) 人件費計	千円	0	0	217	0				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,720	1,907	1,704				

事務事業名	公共建築物総合管理支援員配置事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 公共建築事業の監理については、事業完了に伴い達成したが、個別計画策定については、次年度での策定となったことから達成しなかった。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 個別計画の策定を委託する予定であり、達成する見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 公共建築事業については、設計段階より協議を行うことで、成果の向上が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 専門的な知識が要求される事業となっており、他事業との統合等は難しい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費となっており、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の職員で実施しており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市有施設に係るもので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市有施設に係るもので適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

公共建築事業については、全ての事業において監理業務を実施できた。個別計画の策定については、次年度策定に向け進めていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						